

## 令和6年度自殺対策基礎研修

# これだけは 知っておこう

### — 地域で自殺予防・自死遺族支援に取り組むために —

一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター (CSPSS) は、自殺対策に関する調査研究及びその成果の活用等の推進により、自殺対策の発展を図ること、自殺対策における学び合いと尊重の風土づくり、透明・公平な自殺対策の発展に貢献することを目的として活動を行っています。その一環として、毎年1回、自殺対策に関する基礎研修を実施しております。

本研修は、自治体、民間団体等において自殺対策・精神保健対策に従事する方々が、日常業務の中で自殺予防・自死遺族支援に取り組む視点を得ること、自殺対策計画作成や事業の検討に役立つ視点を得ること、日常業務に自殺予防・自死遺族支援の視点を取り入れることを目的としております。

精神保健福祉法の改正により、市町村等が実施する精神保健に関する相談支援について、精神障害者のほか精神保健に課題を抱える者も対象となることになりました。精神保健と社会的支援を要する複合的なニーズを抱える方の支援は自殺予防において重要です。

本研修は、昨年受講された方にも、今年新たに受講される方にも、役立つ内容となっております。ご参加をお待ちしております。

日時

2024

**9.6** [金] 9:30-18:30

開催  
方法

オンラインビデオ会議システムを使用したオンライン配信

※オンデマンド有。9月10日頃から10月10日まで1か月間視聴可能。参加申込アドレスにURLをお送りします。

対 象

自治体、民間団体等において自殺対策・精神保健対策に従事する方、  
全国精神保健福祉相談員会会員、CSPSS会員など(1つの申し込みで3人まで視聴可能)

定 員

300名

参加費及び  
参加申し込み  
方法

5,000円 (CSPSS会員、全国精神保健福祉相談員会会員、学生は1,000円)

下記のURLまたは二次元バーコードから参加申し込みをしてください。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeum3Rh5XkQVMJWaGr8N-ZbUP1Cj2vYjVpsWhBr0yYnFcAcpQ/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeum3Rh5XkQVMJWaGr8N-ZbUP1Cj2vYjVpsWhBr0yYnFcAcpQ/viewform?usp=sf_link)



振込先

みずほ銀行 小岩支店 普通 3027597

一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター

# 令和6年度自殺対策基礎研修 | プログラム |

開講挨拶

● 9:30-9:40

**田中 幸子 氏** (一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター理事長)

講義 1

● 9:40-10:20

## 「自殺対策における自治体職員のあり方」

**竹島 正 氏** (川崎市総合リハビリテーション推進センター所長)

はじめて自殺対策に取り組む自治体職員にも経験を積んだ専門職である自治体職員にも共有できるよう、自殺の定義、わが国における自殺対策の経緯、自殺リスクのモデル、自治体における取組例などをもとに、自治体における自殺対策と職員のあり方について話します。

講義 2

● 10:20-11:00

## 「自殺統計の見方・活かし方」

**山内 貴史 氏** (東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 准教授)

地域の人々の健康増進や自殺対策に携わる方々にとって、統計に基づく実態把握は「木を見て森を見ず」にならないための必須要件です。本講義では自殺関連統計の概説とその読み方、および統計に基づいた説得力がありかつ優先度の高い自殺対策立案のヒントをお伝えできればと思っています。

講義 3

● 11:00-11:40

## 「必要な支援を届けるためのアウトリーチ・広報の工夫」

**大塚 尚 氏** (東京大学 相談支援研究開発センター 助教)

「悩みがあったらいつでも相談してください。」人はこれではなかなか相談に踏み出せないと言われています。この講義では、人が悩みや問題に直面した際に、他者に援助を求める行動(援助要請行動)の特徴や心理傾向を学び、必要な人に必要な支援を届けるためのアプローチや広報の工夫を考えます。

● 11:40-12:30

**日本司法書士会連合会の取組紹介(司法書士の活動や地域での連携事例など)、午前のプログラムのQ&A(休憩)**

講義 4

● 13:30-14:10

## 「ゲートキーパー育成の基本と考え方」

**小高 真美 氏** (武蔵野大学人間科学部教授)

“ゲートキーパー”の養成は、自殺対策における国の重点施策のひとつとして掲げられており、これまでも数多くの自治体でゲートキーパー研修が開催されてきました。この講義では、ゲートキーパー養成に関わる研究や研修講師としての経験を通じて見てきた課題を中心に、より効果的な研修の企画開催について考えます。

講義 5

● 14:10-14:50

## 「未遂者支援の基本と考え方」

**高井 美智子 氏** (埼玉医科大学医学部客員講師)

未遂者の自殺するリスクは一般人口の何百倍も高いと言われています。この講義では、救急医療現場での未遂者支援の経験や、最近の知見をもとに、未遂者を含む自殺するリスクの高い人に関する基本的な知識と対応方法について説明します。

講義 6

● 14:50-15:30

## 「自死遺族支援の基本と考え方」

**勝又 陽太郎 氏** (東京都立大学 人文社会学部 准教授)

自死によって遺された人への支援は「ポストベンション」と呼ばれ、家族や友人に加え、職場の同僚や関わりのあった医療従事者、組織や地域全体までもが支援の対象になります。本講義では、自死遺族に対する支援について、特に遺された人の悲嘆の理解とその対応を中心に基本的な知識をお伝えできればと思います。

講義 7

● 15:30-16:10

## 「こどもの自殺予防とTIC(トラウマインフォームドケア)」

**大岡 由佳 氏** (武庫川女子大学心理・社会福祉学部 准教授)

こどもの自傷・過量服薬が、子どもなりの生きつらさの対処・適応と考えてみるのが、トラウマインフォームドケアの視点の一つとなります。自死に至ってしまうことを防ぐために支援者に出来ることや、そのためのトラウマインフォームドな環境づくりを一緒に考えたいと思います。

● 16:10-17:00

**全国自死遺族連絡会の取組紹介(活動の考え方、連携事例など)、午後のプログラムのQ&A(全国自死遺族連絡会)**

● 17:00-17:10(休憩)

● 17:10-18:20

**自治体の取組紹介・情報交換**

閉会挨拶

● 18:20-18:30

**篠崎 安志 氏** (全国精神保健福祉相談委員会会長)

一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター  
理事長 田中幸子  
〒983-0817 仙台市宮城野区小田原山本丁100-10  
雲野ビル3階 (一社) 全国自死遺族連絡会内

研修の  
お問い合わせ

一般社団法人TICC  
jtraumainformed@gmail.com  
080-8921-4685(平日9:30~16:30)